

4. 計画の基本方針

1) 新市の将来都市像

新市には、特有の伝統文化、豊かな自然環境、地域特有の産業や生活環境を持つ地域が結び合い、快適な生活と伝統文化や産業及び自然が美しく調和した高いレベルの住みやすさと新たな吉備文化を創造するまちづくりが期待されます。

そこで、新市の将来都市像を、次のとおりとします

地域・文化・自然が支える 心豊かな生活交流都市

さらに、新市の将来都市像実現のために、「共生」「交流」「文化」の3つの大きな柱に基づいて、新市のまちづくりを進めていきます。

「共生」 ～やさしさを育てるまちづくり～

新市は、豊かな自然環境と歴史景観に恵まれた都市であり、次の世代にこの素晴らしい環境を残していくことは、今に生きるわれわれの責務です。そこで、市民・事業者・行政が一体となって、良好な自然と歴史景観、生活環境を保全し、環境と共生していくまちづくりを進めていきます。

また、少子高齢化、核家族化など社会環境の変化が進むなか、地域の相互扶助機能や教育力の低下が懸念されることから、それぞれの市村がつくり守ってきたコミュニティを生かし、連携を図りながら、すべての市民が健康で互いに支え合う、ともに生きるまちづくりを推進していきます。

そのために環境・福祉・教育・まちづくりなどのさまざまな分野において、市民の参加を促進するための新しい制度や条件などを整備し、行政と市民がともに地域の暮らしを支える、新市にふさわしい新しい時代の協働のまちづくりを推進していきます。

「交流」 ～元気を生み出すまちづくり～

新市は、県南広域市町村圏北部における核になる都市として、また中四国における広域交通の拠点都市として、その恵まれた広域交通性を生かした魅力ある都市づくりを進め、人・物・情報が集まる交流都市として発展していくことが望まれています。

そこで、魅力ある賑わいと、安全で快適な都市環境をつくり出していくために、広域道路網、公共交通などの交流機能の整備や、拠点性を高める都市機能の整備、大都市との情報格差の是正のための施設整備などを進めていきます。

また、合併により新市を形成する旧市村間の交流性を一層高め、新市としての一体感を醸成していくために、アクセス道や公共交通、情報基盤などの整備に加え、住民同士の交流を促進するソフト事業を推進していきます。

「文化」 ～豊かな心を育むまちづくり～

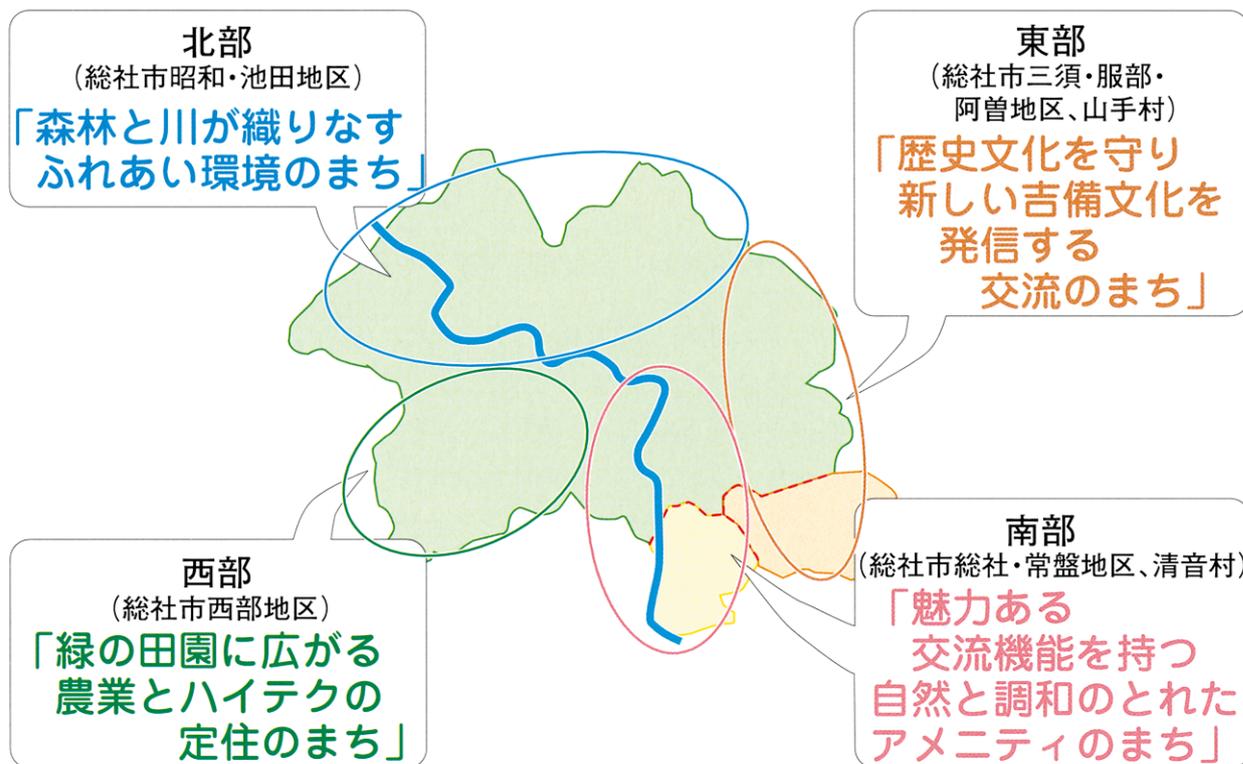
新市は、古くから古代吉備王国の中心として栄えた地域であり、今も残る数多くの文化遺産は、この地が古代から人が集い豊かに暮らしたすばらしい地域であったことを語りかけてくれます。この誇るべき吉備文化を現代に生かし、新しい魅力ある新市をつくりあげていくために、われわれの心のふるさとである吉備路を再発見したうえで、市民と行政が手を携えて、新たな吉備文化と地域アイデンティティの創出に努めていかなければなりません。

そのため、歴史文化遺産、歴史景観の保全整備、情報発信を積極的に進めるとともに、岡山県立大学をはじめとする数多くの地域の人材と資源を生かした、新しい市民文化を創造するまちづくりを推進していきます。

2) 地域別の基本方針

これまでの3市村の土地利用の基本方針と、自然的条件や歴史的条件、社会・経済的条件や発展経緯などを踏まえ、新市では次の4地域に区分し、地域別の基本方針を定めます。

● 4つの地域



●北部地域

地域の概況

- ・新市の北部にあって吉備中央町、高梁市、井原市などに接する一帯は、豊かな森林が広がり、高梁川、槇谷川等の清流や豪溪、秋葉山をはじめとする景勝に恵まれています。

地域の基本方針

森林と川が織りなすふれあい環境のまち

●水源の涵養や治山対策と合わせ農林業とレクリエーションが共存する地域

- ・地域に適合した農業基盤整備や防災対策、生活環境整備を進め、都市的地域では望むことのできない自然と一体となった居住環境の確保に努めていきます。
- ・地域の拠点となる地区については、必要に応じてそれぞれ道路、上下水道、公園の整備など定住と賑わいのための施策を引き続き進めていきます。
- ・数々の自然資源やレクリエーション施設などの森林と水辺空間が一体化したレクリエーションゾーンの形成を図っていきます。

●西部地域

地域の概況

- ・高梁川の西側にあつて倉敷市、矢掛町、井原市などに接する一帯は、農業条件に恵まれた穏やかな田園風景が多く残され、この優良な環境、条件を背景として工業団地や住宅団地が配置されるなど、特色のある地域となっています。

地域の基本方針

緑の田園に広がる農業とハイテクの定住のまち

●農業と工業と住宅が共存する地域

- ・まとまりのある優良農地については、長期的に保全を図る一方で、農業基盤整備を進め、生産性の高い農業生産地の形成を図るとともに、近隣商業機能や生活道路の整備、そして農業集落排水事業などを総合的に推進して、田園環境と共生する良好な居住環境の向上を図ります。
- ・既設の工業団地に加え田園環境と共存する工業地を配置し、周辺地域における定住性の確保に努めていきます。
- ・総社大橋、豪渓秦橋に加えて、現在整備中の東総社中原線からの新架橋の実現を目指すとともに、広域的道路の整備も行い、利便性が高い静かな定住環境を充実させていきます。

●南部地域

地域の概況

- ・高梁川東部平坦地一帯に広がる地域は、市街地、住宅地域、さらには工業地域として整備が進められており、新市の中心として都市的サービスとまちの賑わいを提供する地域となっています。

地域の基本方針

魅力ある交流機能を持つ自然と調和のとれた

アメニティのまち

- 都市核となる公的機関、商業施設、文化施設や住宅地、工業地が、自然と共存しながら、活力と賑わいと安らぎを生み出していく地域
- ・市街地については、新市の中心として、緑化の推進、水辺環境の整備などのおいのある環境に配慮しながら、都市計画事業を中心に、駅前整備や土地区画整理事業、総社清音間を連絡する幹線道路の整備などを進めて、地域の活性化と交流のための基盤を引き続き整備していきます。
- ・商業地域については、新たな出店を促進するとともに情報発信環境の整備を進めます。
- ・市民の交流の拠点となる施設を整備し、余暇時間の活用と生きがい対策、市民文化の高揚を図ります。
- ・住宅地域については、生活道路、下水道、公園などを整備し、緑空間の確保や利便性、安全性に配慮したアメニティの高い居住環境づくりに努めていきます。

●東部地域

地域の概況

- ・新市の東部にあって岡山市、倉敷市に接する一帯は、2つの県立自然公園を持つ古代吉備の国の文化遺産が豊富に残された貴重な地域であることに加えて、岡山自動車道岡山総社インターチェンジ、国道429号バイパス整備、サンロード吉備路など新市の玄関口としての整備も進んでいます。

地域の基本方針

歴史文化を守り新しい吉備文化を発信する交流のまち

●数々の歴史遺産と田園景観、大学、広域交通・観光の拠点が共存する、歴史文化を守り新しい吉備文化を発信する交流地域

- ・吉備路風土記の丘、旧山陽道周辺地域については、史跡の保全と活用を図りながら歴史景観を守っていきます。
- ・国道429号バイパス、県道清音真金線付近への、吉備文化を発信する拠点施設の整備などを進めるとともに、吉備文化の中心地として内外の体験型交流拠点の整備や滞留型観光の展開を進めていきます。
- ・鬼ノ城を中心とする地域については、その豊かな自然と数々の文化財が融合したフィールドミュージアムとしてその活用を図ります。
- ・岡山県立大学周辺には文化的・学術的な交流と情報発信のための施設、そして岡山総社インターチェンジ周辺にはその特性を生かした流通や情報発信の施設の配置を進め、新市を全国にアピールしていきます。